

## 頭部打撲 患者さんパスシート

ID		診療科名	総合診療科	
氏名		入院 予定期間	入院日	月 日
生年月日			退院日	月 日

月 日	/	/
経 過	1日目	2日目
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>手足の麻痺、頭痛、嘔気、嘔吐などの症状がみられる場合には、看護師に知らせてください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>退院後に気を付ける症状を理解しましょう。</li> <li>退院後の注意点について、説明を受けて理解しましょう。</li> </ul>
検査	 検査は、ありません。	
排泄	<ul style="list-style-type: none"> <li>車いすですぐトイレに行きます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護師と一緒に歩いて、トイレに行きますので、ナースコールを押してください。</li> </ul>
観察	<ul style="list-style-type: none"> <li>頭を打ったことで起こり得る症状の有無を観察します。</li> </ul>	
食事	<ul style="list-style-type: none"> <li>吐き気がなければ水分は摂取できますが、食事は摂取できません。</li> </ul>	
清潔	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要時、看護師がお手伝いします。</li> </ul>	
活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベッドで安静にしてください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護師と一緒に歩きます。</li> </ul>
治療	<ul style="list-style-type: none"> <li>食事が摂取できませんので、点滴をします。</li> </ul> <div style="text-align: center;">   </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>頭痛、吐き気など、いつもと違う症状がある時は、ナースコールを押して知らせてください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>点滴を終了し、針を抜きます。</li> </ul> <div style="text-align: center;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>パンフレット「頭部外傷後の注意点」について、説明します。</li> </ul>

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。なお、病状に応じて変更することがありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

## 頭部外傷後の注意

頭を打った時には、脳にいろいろな変化が起ります。数は少ないのですが、頭蓋骨（あたまの骨）の内側に出血が起ると生命に危険をおよぼすことがありますので注意が必要です。このような頭蓋内出血（あたまの中の出血）の症状は、頭を打った後すぐ起ることも、1～2日、ときには数日たってから起って来ることも、またずっとおくれて時には数ヶ月も経ってから起って来ることもあります。ですから現在何も症状がなくても十分注意しなければなりません。頭を打ったのち、元気だった人が急に死亡したりすることがあるのは、このような頭蓋内出血のためです。この頭蓋内出血は、頭蓋骨骨折（あたまの骨折）とは、かならずしも関係しませんから頭の骨に異常がないからといって安心はできません。そこで次に書いた注意をよく読んで、手おくれにならぬ内に、患者さんを病院につれてくることが非常に重要です。

- 1) 頭痛がだんだん強くなる時
- 2) はきけやおうと（食べたものを吐いたり、何も食べないのに物をはく）が起る時（小児の場合はおうとをすぐしますが、それが数回にもおよぶ時）
- 3) 手足が動きにくくなったり、しびれたり、手に持ったものを取り落すことが多くなったりした時
- 4) ぼんやりしてくる時、あるいはほっておくとすぐねむってしまい起してもなかなか起きない時  
特に頭部打撲当日の夜は一度刺激をして起こして見て下さい。（お子様は寝ついてしまうとわかりにくく注意が必要です。）
- 5) 全身・手・足等のけいれん（ひきつけ）が起る時

### 頭部打撲後の注意

小さい子供さんは、相当強く頭を打った時でも、症状が出にくいことが多いので、たとえ元気にしていても1～2日は目をはなさないことが大切です。

あたまを打ったのちは、少なくとも2～3日は安静を保ち、1人で外出したり、過労をしないように注意して下さい。また病院へ患者さんを運ぶ時には、出来れば前もって連絡し、出来るだけ振動の少ない乗物で、短時間に運んで下さい。余り神経質になることはありませんが、以上の注意をお守り下さい。

救 急 外 来